

Jabber 自動更新のための CUCM TFTP の設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[Jabber自動更新の設定ファイル](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、Jabberの自動更新機能のためにCisco Unified Communications Manager(CUCM)TFTPサーバでXMLファイルをホストする方法について説明します。

CUCM 8.5 以降、TFTP サーバにアップロードされたすべてのファイルは TCP ポート 6970 で HTTP 経由で利用可能にできます。

注：内蔵の HTTP サーバは静的コンテンツ専用で設計されており、ダイナミックなコンテンツはサポートしていません。ファイルをホストするために使用できるため、クラスターに個別のWebサーバを導入する必要がありません。ファイルはOS管理のTFTPファイル管理ページ経由でのみアップロードできます。これは、写真をホストする場合にファイルがスケラブルでないことを意味します(Jabber Uniform Resource Identifier(URI)の置換写真の取得では使用できません)。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- [OS Administration TFTP File Management] ページ
- Cisco TFTP サービス

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、CUCMバージョン8.5以降に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

設定

Jabber自動更新の設定ファイル

この例は、Jabberの自動更新機能で使用するXMLファイルについて説明します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<JabberUpdate>
<LatestBuildNum>55781</LatestBuildNum>
<LatestVersion>10.6.1</LatestVersion>
<Message>

<![CDATA[<h3 class="topicTitle3">New and Changed Features in Release 10.6(1)</h3>
<p><strong>Certificate Validation for CTI Connections</strong></p>
<p>Cisco Jabber for Windows no longer uses CTI server certificate validation.</p>
<p><strong>Call with Edit</strong></p>
<p>A new<strong>Call with Edit</strong>&nbsp;menu option is available from the hub window
by right-clicking over a contact's name. Users can edit the number they are calling prior to
making the call. When users select a number from this menu option, the call number is copied
into the<strong>Search or Call</strong>&nbsp;field with the cursor automatically placed at
the front of the number. Users can edit the call number prior to making the call.</p>
<p>No configuration is required to enable this feature.</p>
<p><strong>Show Contact Pictures in Hub</strong></p>
<p>The Cisco Jabber client has renamed the<strong>Show Contact
Pictures</strong>&nbsp;option as<strong>Show Contact Pictures in Hub</strong>. This option
is available in the client under
the<strong>Options</strong>&nbsp;&gt;&nbsp;<strong>View</strong>&nbsp;menu.</p>
<p>Only the name of the option has changed, the behavior has not; selecting it displays users'
contact photos in the hub window on
the<strong>Contacts</strong>, &nbsp;<strong>Recents</strong>, and<strong>Voice
Messages</strong>&nbsp;tabs.</p>]]>

</Message>
<DownloadURL>http://ucmpub.domain.com:6970/CiscoJabberSetup.msi</DownloadURL>
</JabberUpdate>
```

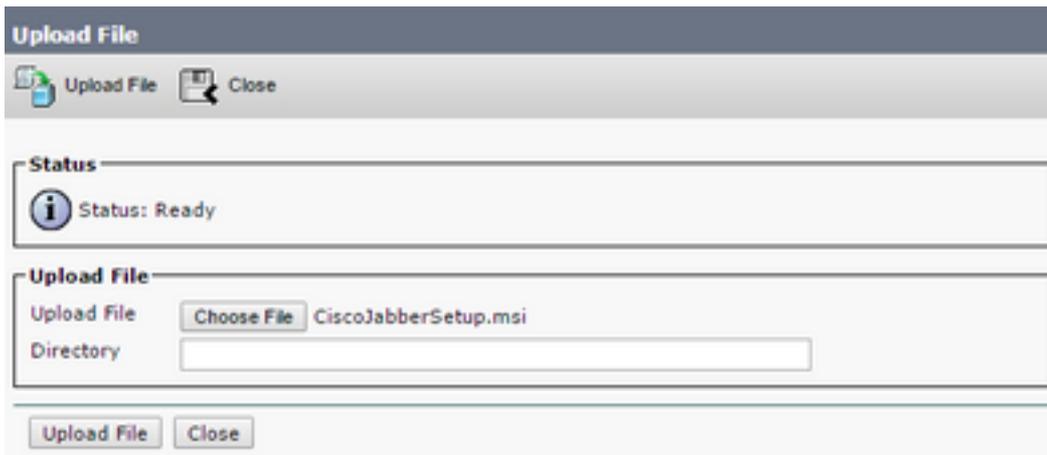
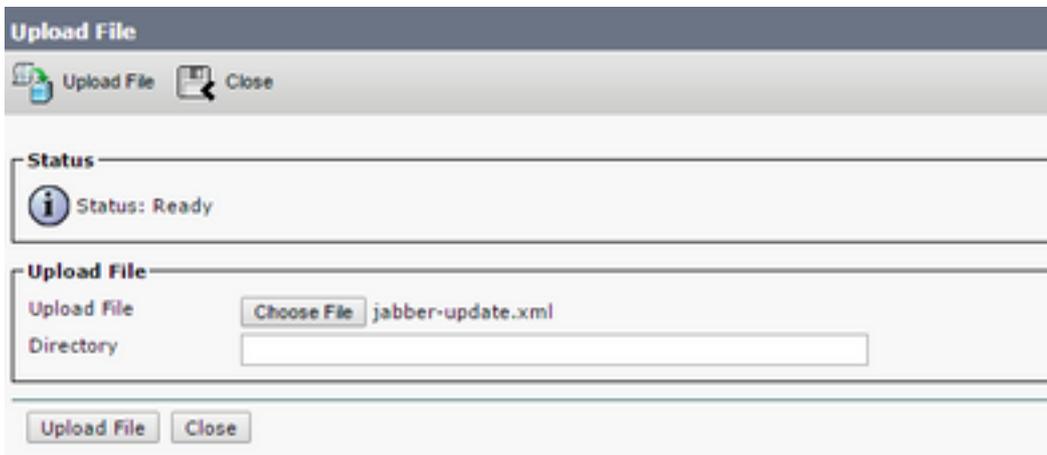
ご覧のように、DownloadURLは<http://ucmpub.domain.com:6970/CiscoJabberSetup.msi>を指定しています。

注：URLでポート6970を使用することが重要です。

次に、jabber-config.xmlファイルでこのURLを参照すること。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<config version="1.0">
  <Client>
    <UpdateUrl>http://ucmpub.domain.com:6970/jabber-update.xml</UpdateUrl>
  </Client>
</config>
```

このjabber-config.xmlファイルは、通常どおりCUCMの[OS Administration TFTP File Management]にアップロードされます。次に、次の図に示すように、jabber-update.xmlファイルとJabber実行可能ファイルをアップロードします。

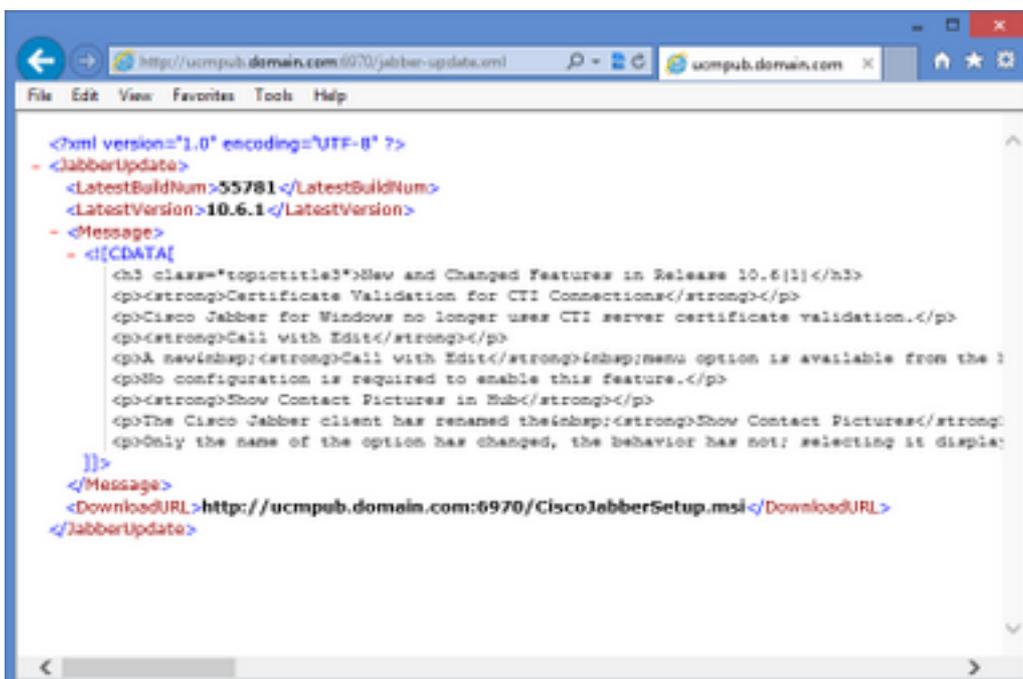


最後に、Cisco UnifiedサービスアビリティからCisco TFTPサービスを再起動します。

確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

ファイルがHTTP経由で利用可能であることを確認するには、次の図に示すように、ブラウザで `http://<CUCM IPまたはFQDN>:6970/jabber-update.xml` を指定します。



Wireshark では、HTTP プロトコルは次の図に示すように、TCP ポート 6970 経由で jabber-update.xml を要求します。

No.	Time	Source	Destination	Source Port	Destination Port	Protocol	Length	Info
1990	13:45:28.193347000	PC	ucmpub.domain.com	53364	6970	HTTP	507	GET /jabber-update.xml HTTP/1.1
1995	13:45:28.194962000	ucmpub.domain.com	PC	6970	53364	HTTP	254	HTTP/1.1 200 OK (*/*)

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。